

CITIZEN

USB 仮想 COM (VCOM) ドライバーガイド

2024/9/2

シチズン・システムズ株式会社

A、はじめに

本書は、弊社モデルの USB インターフェースの仮想 COM (VCOM) ドライバーについて説明しています。本ドライバーは、Windows 上にてプリンターの USB ポートを仮想的にシリアルポートとして動作させるためのものです。シリアルポートから印刷するアプリが、USB に接続したプリンターに印刷できるようになります。

本書は、必ず仮想 COM ドライバーをご使用になる前にお読みになってください。

B、プリンターの条件

仮想 COM ドライバーが動作するためには、プリンターの USB ポートが仮想 COM モードである必要があります。

仮想 COM モードにする方法は、プリンターにより違います。

POS プリンター (CT-S280 を除く CT-S x x x / PPU700II / PMUxxxxI)

MSW5-3 USB モードを仮想 COM に設定します。

CP-P29 x

DIP スイッチ No.3 を OFF にします。(出荷時設定のまま)

ラベルプリンター (CLP-5xx / 6xx / 8300 / CL-Sxxx / CL-Exxx、CLP は Firmware Ver が新しいものに限る)

インターフェース設定 → USB デバイスクラスで VCOM を選択

CT-S280 (と PPU2 x x x タイプ 1) については、本仮想 COM ドライバーは使えません。

CT-S280 専用の仮想 COM ドライバーのインストーラーが用意されていますので、そちらをお使いください。

C、PC 側の条件

OS : Windows XP、Vista、7、8、8.1、10、11 及びこれらの派生 OS (32/64bit)

(派生 OS では、必要なコンポーネントが含まれていること)

USB ポートがあること

他のデバイス用の仮想 COM ドライバーがインストールされていないこと (正しく動作しないことがあります)

D、インストール手順

ここでは、Windows 10 を元に手順を説明していますが、他の OS でも、手順はほぼ同じです。

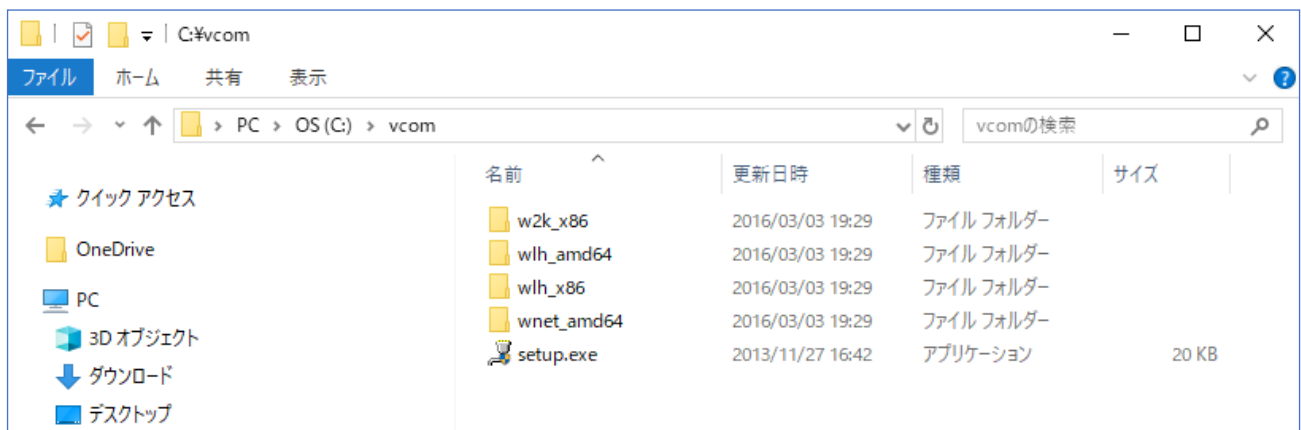
1、プリンターの USB ポートが「仮想 COM」モードになっていることを確認してください。

2、プリンターの電源がオフの状態で、PC とプリンターを USB ケーブルにて接続します。

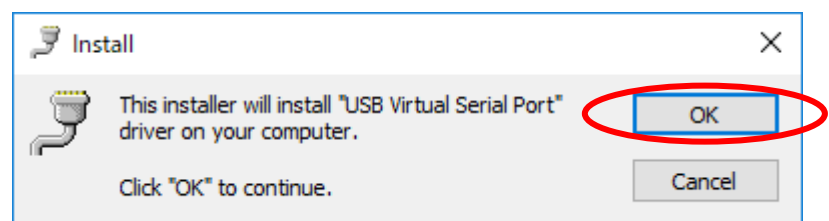
3、ZIP ファイルを展開します。(仮想 COM ドライバーを ZIP ファイルで入手している場合)

4、展開したフォルダー内の setup.exe を実行します。

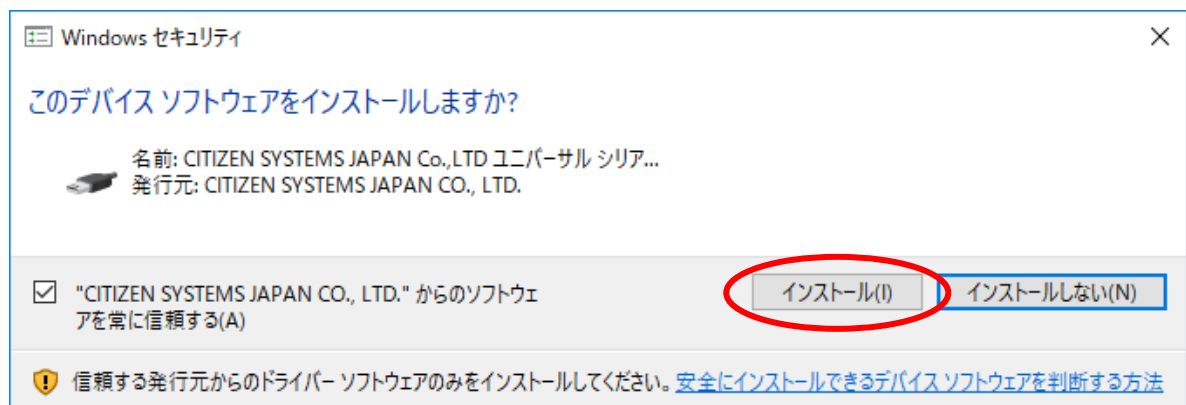
(サブフォルダー内にも同名のファイルがありますが、このフォルダーのものをお使いください)



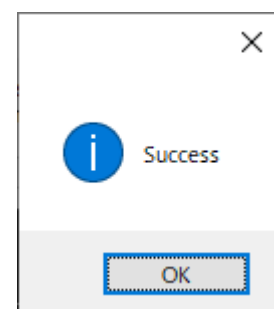
5、USB Virtual Serial Port setup という名前でユーザーアカウント制御の画面になり、「はい」を押すと、下記の「Install」の画面が出るので「OK」を押します。



6、「このデバイスソフトウェアのインストールしますか？」の画面が出るので、「インストール」を押します。



以降は、インストールウィザードに従って、インストールを進めてください。
インストールが成功すると右の画面が出ます。



7、仮想 COM ドライバーのインストールが終わったら、プリンターの電源を入れます。

ここで、追加のウィザード画面が出る場合があります。

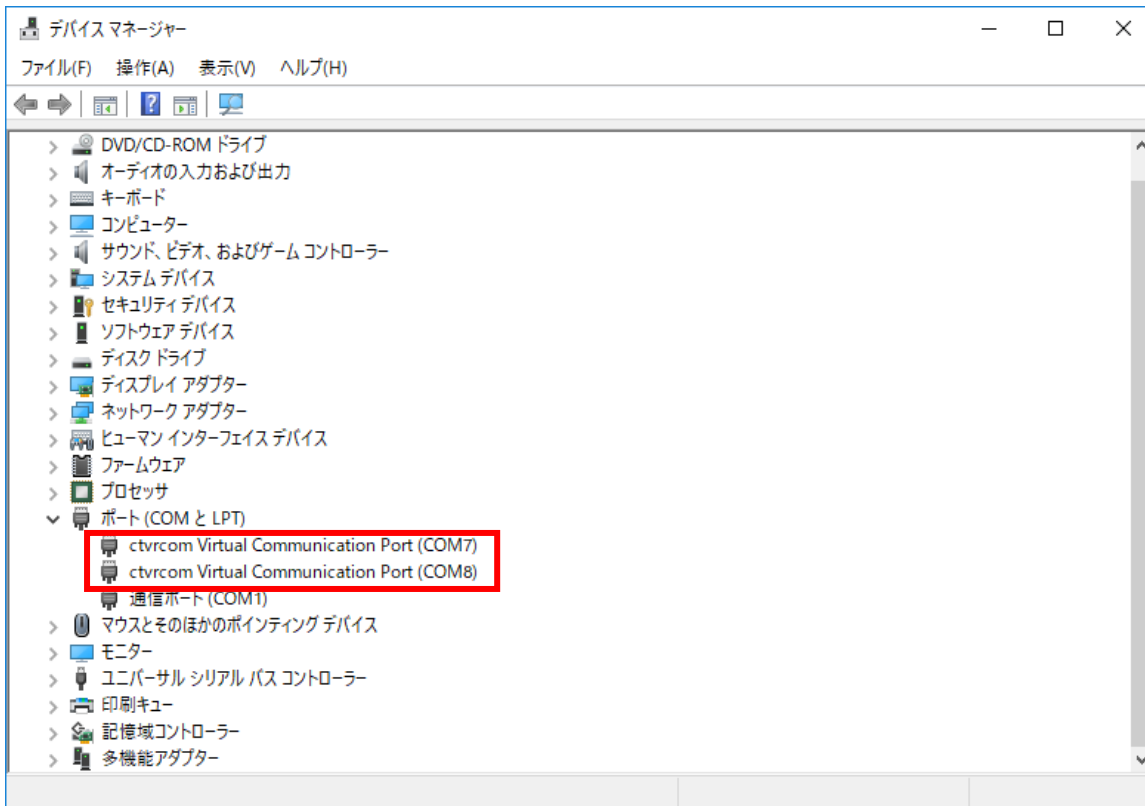
（推奨）とある選択肢の選択や「続行」ボタンなどで、インストールを完了させてください。

環境によっては、ここで再起動したほうが良い場合があります。

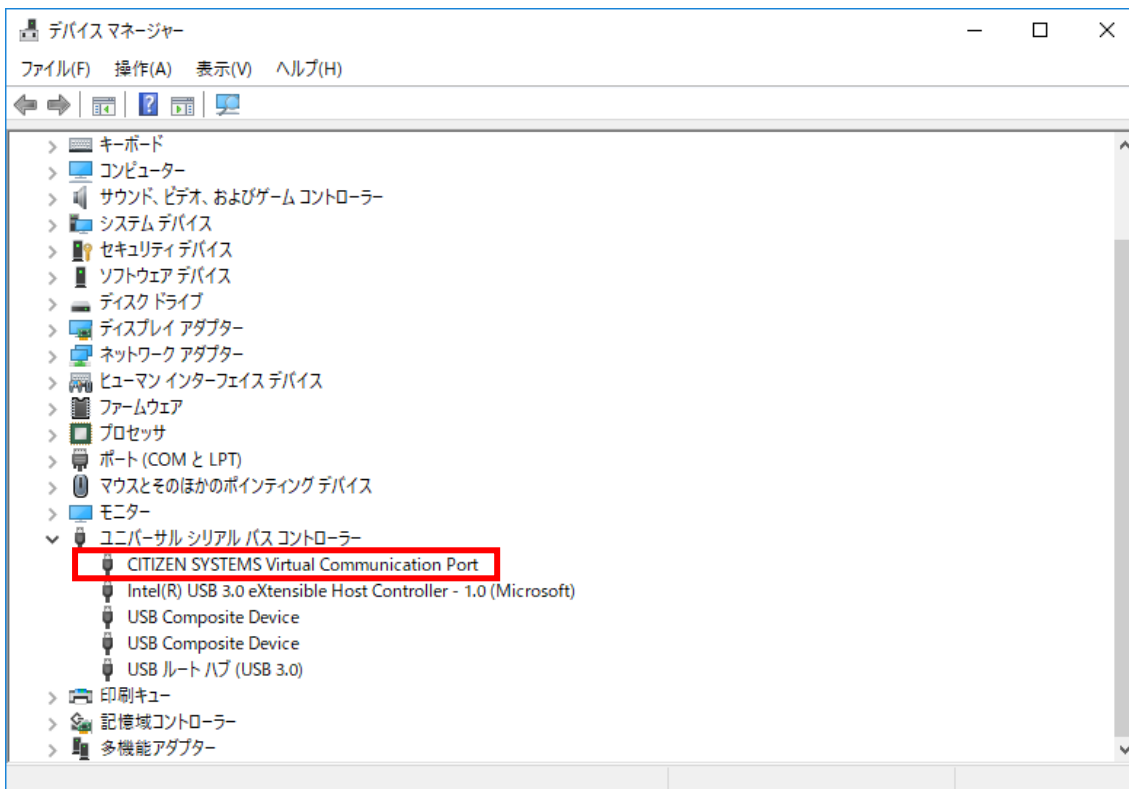
E、インストール結果の確認

デバイスマネージャーにて、ドライバーが正しくインストールされているかをご確認ください。

ポート：「ctvcom Virtual Communication Port」ができています。（通常は、COM 7 と COM 8）

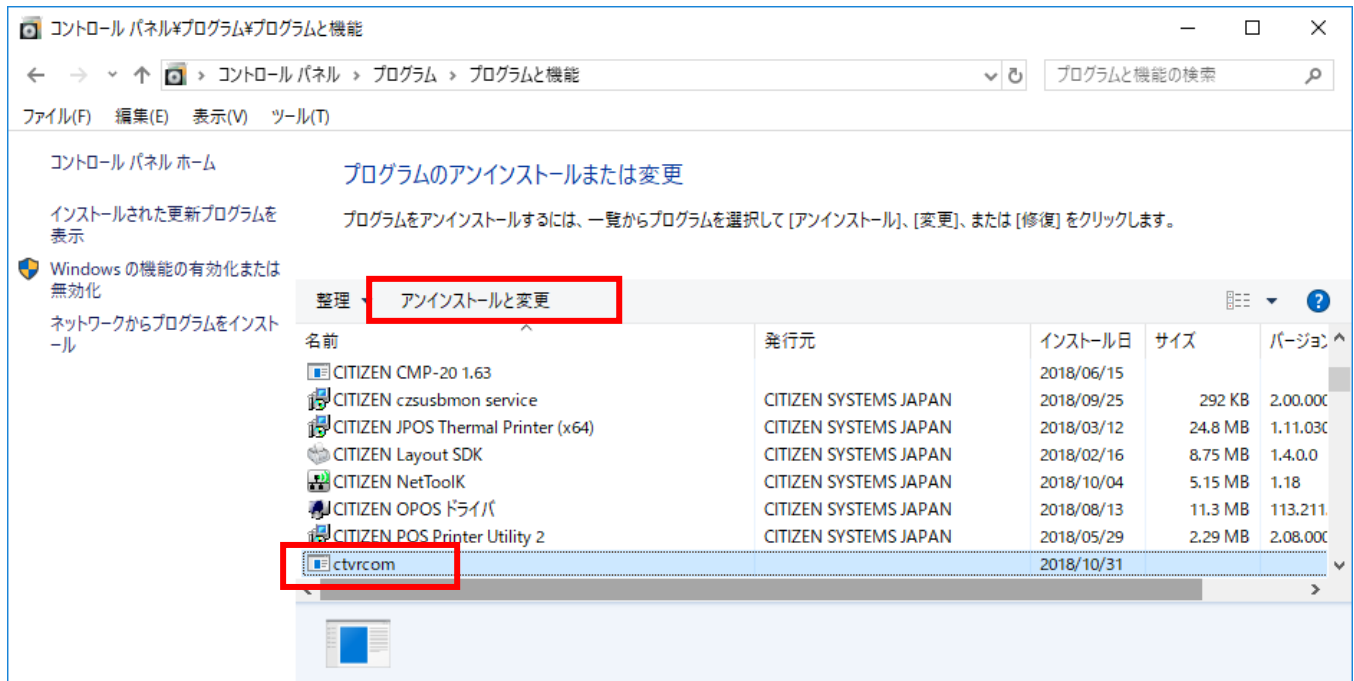


USBコントローラ：仮想COMモードのプリンターの接続で「CITIZEN SYSTEMS Virtual Communication Port」がでます。



F、アンインストール

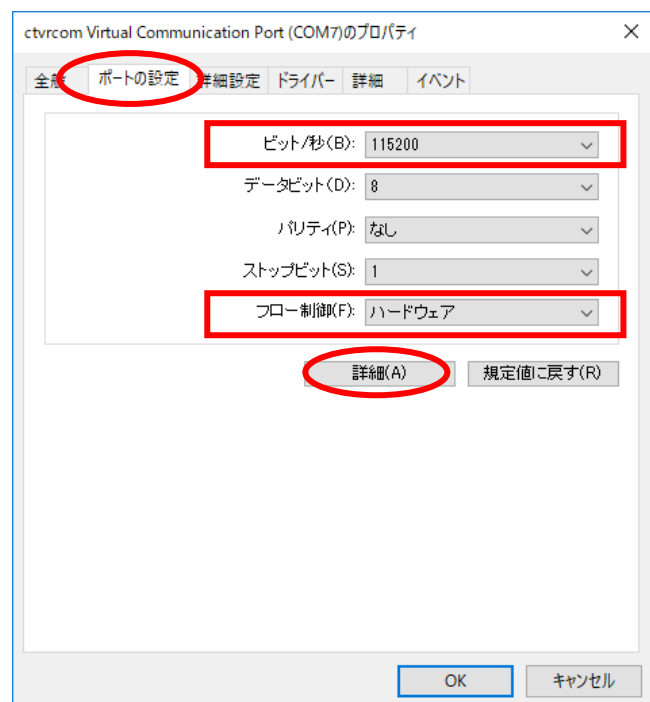
ドライバーの削除をするには、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」にて「ctvrcom」を選び、「アンインストールと変更」を押します。これで、Uninstall 画面が出るので、指示に従ってください。



G、ポートの設定と詳細設定

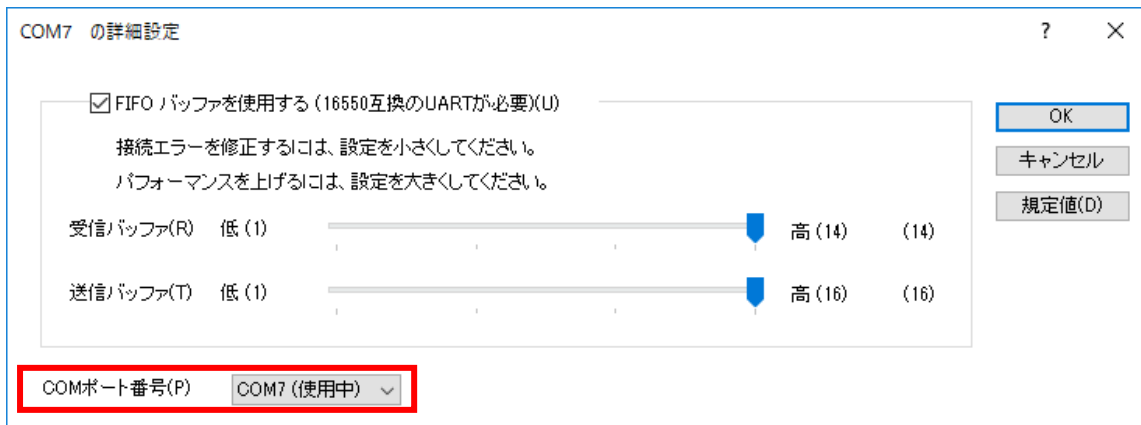
通常のシリアルポートの通信と違い、PC やプリンターの設定とは関係なく、ボーレートは 115200bps、ハードウェアフロー制御を使って通信しています。

デバイスマネージャーで仮想 COM ポートを選んだまま右クリックでプロパティを選び、ポートの設定タブを選ぶと下の画面が出ますが、ここで設定を変更しても影響することはありません。



この画面で、「詳細ボタン」を押すと、下の画面が出ます。

COM ポート番号を変更したい場合、変更したい COM ポート番号が使われていなければ、この画面で変更できます。

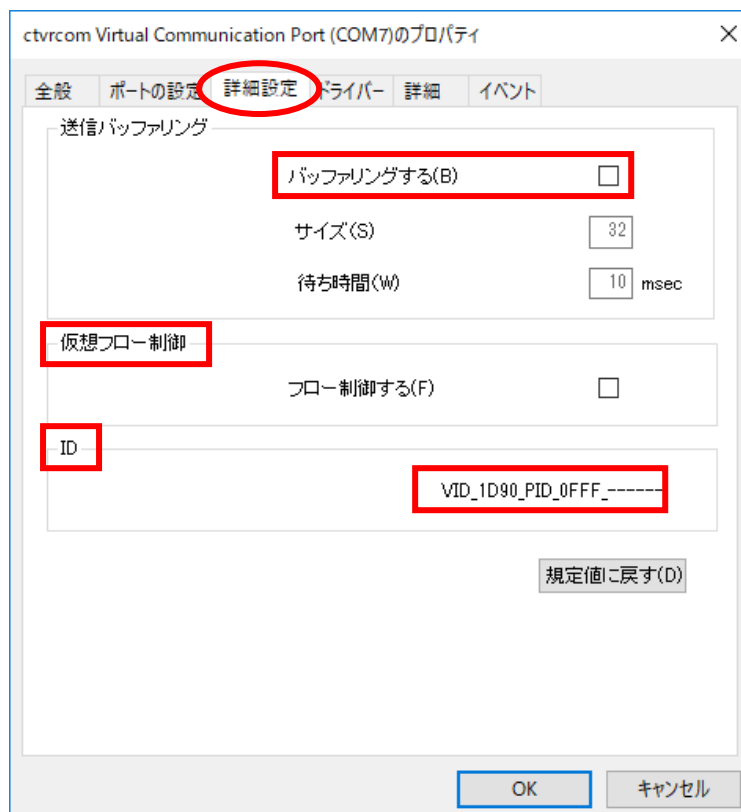


送信バッファリング：アプリの作り方によって、仮想 COM ドライバーでの通信が非常に遅くなることがあります。

その場合は、詳細設定のタブにある、「バッファリングをする」を有効にしてください。

サイズや待ち時間は、基本的に調整する必要はありません。

仮想フロー制御：有効にしないでください。



ID

COM 7 と COM 8 の ID は、別になっています。

これはプリンターにより仮想 COM の ID が違うためですが、プリンターに合った正しい ID の仮想 COM を使う必要があります。

COM8 (VID:2730, PID:0FFF) → POS 系の古いモデル (CT-S310/2000/4000/CT-P29x)

COM7 (VID:1D90, PID:0FFF) → その他のモデル

注) 仮想COMポート番号

COM7やCOM8がすでに使用されている場合など、PCのCOMポートの状況により、他のポートが割り当てられることがあります。

仮想 COM ドライバーのデフォルトのポートとして、COM7やCOM8以外のポートを割り当てることも可能ですので、必要な場合は、弊社までお問合せください。